

第一章活用事例

小学校一・二年生版「心あかるく」
「おまじない みみずみつお」

p.6
p.7

中心資料

小学校道徳 読み物資料集 平成二十三年三月 文部科学省
「シロクマの クウ」

【主題名】 あきらめないで

第一学年及び第二学年 1-②

【ねらい】 「自分がやらなければならぬ勉強や仕事は、しっかりと行う。くじけないで努力しようとする心情を育てる。」

《ねらいとする道徳的価値》について《一・二年生の時期の児童は、親や教師の言葉を素直に受け止め、やらなければならぬことを前向きに受け止めています。しかし一方で、うまくいかないことがあるとすぐに投げ出してしまう場面も多く見られます。褒めたり励ましたり助言をしたりしながら、何事にも粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせるとともに、やり遂げた喜びを実感させることが大切です。》



「あなたが、今、がんばっていることは何ですか。」

○今、自分ががんばっていることに、意識を向けさせましょう。

○「心あかるく」 p.64 「きょうも がんばろう」の挿絵を活用して、

主題にかかわる問題意識をもたせましょう。

導入

○教師が「シロクマのクウ」を読み聞かせましょう。



「魚をとることが、うまくいかないとき、クウはどのような気持ちだったでしょうか。」

○がんばっていることがうまくいかないときの気持ちを、主人公クウを通して考えさせましょう。



「クウは、どのような気持ちで『こんどこそ、ひつとどつとみせるよ』と言ったのでしょうか。」

○クウが、自分の課題に対して真剣に向き合い、努力しようと心に決めたことに気付かせましょう。子供たちにも、「よし、やってやるぞ。」と思った経験が、どこかであったのではないのでしょうか。

中心発問



「つかれてすわりこんでしまったとき、クウはどのようなことを考えていたのでしょうか。」

○「もうあきらめよう。だって……だから。」が「がんばろう。だって……だから。」という葛藤の中で、クウが、迷いながらも再び挑戦しようとするまでの気持ちの変化を想像させましょう。

《評価》 クウの気持ちについて話し合い、強い意志をもち、くじけずに前向きに考え、行動していくことの大切さに気付くことができたか。



「クウは自分で魚をとることができましたね。あなたは『今、がんばっていること』を、これからどのようがんばっていきますか。」

○導入で意識させた、「今、がんばっていること」を再び思い出させましょう。クウの姿を見つめさせたり、これまでの経験であきらめないでがんばることができたことを振り返らせたりしながら、くじけず前向きに行動していこうとする意欲をもたせましょう。

○説話として、教師自身ががんばって何かをやり遂げた体験を子供たちに語りましょう。

○ p.6 p.7 「おまじない」の言葉を全員で読み、授業のまとめとして話し合おう。

終末

板書例

シロクマのクウ

さかなをとることが うまくいかないとき、クウは どのような きもちだったでしょうか。

- どうしてできないのかな
- おまじない
- おかあさん、やって
- もういやだ

魚がとれず、がっかりするクウの挿絵

クウは どのような きもちで 「こんどこそ ひとつりで とつとみせるよ」と いったのでしょうか。

- どのこも、2さいになったらできるのかな。
- ぼくも、もうすぐ2さいだ。がんばらなくちゃ。
- ぜったいやってやる。

つかれて すわりこんでしまったとき クウは どのような ことを かんがえていたのでしょうか。

- ・もうあきらめよう。
- ・できない。

- ・ぼくにはむりだよ。
- ・やっぱりおかあさんにやってもらおう。

つかれて座り込むクウの挿絵

- ・あっ、おかあさんがみている。つかれたけどやろう。

- ・がんばろう。
- ・もっと れんしゅうすればできる。

魚がとれて、うれしそうなクウの挿絵

「おまじないーみみずみつお」の詩

《評価》 「自分がやらなければならぬことは、最後までやりとげようという気持ちをもつことができたか。」